

大安寺報

第81号



曹洞宗 圓祥山大安寺
住職：長岡 俊應
副住職：長岡 俊成
〒039-4401
青森県むつ市大畑町
本町 80 番地
Tel 0175-34-2926
Fax 0175-34-6426
E-mail info@daianji.jp
http://www.daianji.jp

名句・名言に学ぶ

体が動くうちに海外旅行をすればよかった。ワインの美味しいお店に行っても自由に飲めない。若いうちにやれることがあったらやったほうがいい。老後にやろうと思っても、老後になるとできないことがあまりにも多すぎる

小倉智昭(アナウンサー)

フジテレビの朝の顔として、また様々なテレビ番組のナレーターとして活躍した小倉智昭さんが今年の十二月に膀胱がんが原因で亡くなりました。小倉さんは秋田県に生まれ、生来の吃音を克服し、テレビ東京を経てフリーアナウンサーとして活躍してきました。そんな小倉さんが病魔に襲われたのは平成二十八年。膀胱がんの全摘出手術を経て復帰し、果敢に仕事に取り組みしました。そのような中、令和五年に肺への転移、そして、腎盂がんにより左腎臓を全摘出。それでも病に向き合いながら活躍を続けました。しかし、十二月になり容体が急変し、

家族に見守られながら逝去されました。

そんな小倉さんが今年の三月に日経新聞に掲載したコラム「小倉智昭さん『老後にやろう』はダメ闘病の末の本音」が話題になりました。冒頭の言葉はその中の一節です。小倉さんは生前、趣味である音楽や映画鑑賞が難しくなっている現状を伝え、自身の後悔を吐露しながら、自分の言葉が少しでも多くの人に、特に若い人に勇気を与えられればと綴っています。

現代はいつ何が起るか予測がつかない時代です。「いつかやろう」と思ってもその「いつか」が必ず巡ってくるとは限りません。常に「いま」を意識し、後悔なく自分がやりたいことをやることの大切さを小倉さんの言葉は伝えてくれています。

禅宗寺院にある木版に「生死は仏の一大事、時は無常に迅速に過ぎ去っていくから、各人はこのことに目覚めて、并道精進にため、無為に過ぎしてはいけない」と書かれています。小倉さんの言葉はこの警句に通じるのではないのでしょうか。

合掌

仏事 Q&A 第五十六回

Q. 御本尊の前で、何と称えればよいのですか？

A. 曹洞宗の宗派としての本尊は釈迦牟尼仏とされていますから、僧侶・檀信徒にとつての基本的な本尊称名は「南無釈迦牟尼仏」です。「南無」は「帰依する」という意味です。「帰依」というのは帰投・依伏の略ですが、それは身も心もすべてゆだねきり、頼りきる、ということを指します。「南無釈迦牟尼仏」とは、へただわが身をも心をもはなちわすれて、仏のいえになげいれ(『正法眼蔵生死』)することにほかなりません。それは「私」「自分」という思いを投げうって、すべてを仏さまが説かれたみ教えにゆだねきると誓うことであると言つてよいでしょう。道元禅師さまの作と伝えられるものに、「草の庵に、ねてもさめても申すこと 南無釈迦牟尼仏 あはれみたまへ」という和歌があります。寝ても覚めても、常に「南無釈迦牟尼仏」と誓い、念ずることが、曹洞宗の僧侶・檀信徒における日々の信仰生活の基礎となります。お寺に参拝された折は、各寺院のご住職さまのご教導にしたがつて礼拝してください。

大安寺の宗旨：曹洞宗 両本山：福井県 永平寺・神奈川県 總持寺 高祖：道元禅師 太祖：瑩山禅師
ご本尊：釈迦牟尼仏 本尊唱名：南無釈迦牟尼仏(なむしゃかむにぶつ)

各行事の表書き

- 正月(ご祝儀袋可) 御礼銭
 - 又は 祈禱料
 - 春・秋彼岸 又は 回向料
 - 又は 諷誦料
 - 節句(ご祝儀袋可) 御礼銭
 - 又は 回向料
 - お盆 御施餓鬼
 - 又は 諷誦料
- お供物は

【維持費納入について】

○令和六年度維持費(四千元)の納付期限は令和六年十二月三十一日です。納付忘れのないようお願いいたします。なお、期限を過ぎても納付可能です。

曹洞宗テレホン法話
曹洞宗宗務庁運営
0120-508-740
携帯の方は 03-3454-5410

曹洞宗テレホン法話
「心の電話」
東北管区教化センター運営
022-218-4444
http://soto-tohoku.net/
tel-sermons/

令和七年 年回表 (法事早見表)

一周忌	令和六年
三回忌	令和五年
七回忌	令和元(平成三十二年)
十三回忌	平成二十五年
十七回忌	平成二十一年
二十三回忌	平成十五年
二十七回忌	平成十一年
三十三回忌	平成五年
三十七回忌	平成元(平成六十四年)
四十三回忌	昭和五十八年
四十七回忌	昭和五十四年
五十回忌	昭和五十一年
百回忌	昭和元(大正十五年)

【法事の際にご用意いただくもの】

- ①御位牌
- ※仮位牌は、忌明け(二十五日)もしくは(四十九日)まで
- ②本堂にお供えする御供物(あげもの)少々(菓子・果物など)
- ※可能であれば前日までにお届けください。当日になる場合は、法事開始十分前までに御持参ください。
- ☆引き続き墓参をされる場合は、線香・ろうそく・供物・花・洗米(あられ)なども御持参ください。

各種講座のご案内(令和七年一月〜三月)

- ◆「月例写経・写仏会」(予約不要)
日時：一月二十六日(日)、二月二十三日(日)、三月二十三日(日) 午後一時〜三時
内容：ミニ法話〜写経・写仏〜茶話会
場所：中広間 参加費：五百円 備考：椅子席
- ◆「黄昏坐禅会」(予約不要)
日時：一月十二日(日)、二月十六日(日)、三月十六日(日)、午後四時〜五時 ※坐禅指導希望の方は午後三時半集合
内容：禅語紹介〜坐禅
場所：中広間 参加費：無料 備考：椅子坐禅可能 服装：動きやすい服装で。(スカート・ジーンズ不可)

行事カレンダー(令和七年一月〜三月)

- 令和七年一月一日(水・元旦)午前〇時
- 「元朝大般若祈祷」(本堂)・「除夜の鐘」(鐘楼堂)
- 令和七年二月十五日(土)
- 「涅槃会法要」(本堂)午前十一時
- ※お釈迦さまの入滅(涅槃)にちなみ、報恩感謝する法要です。
- 令和七年二月二十日(木・春分の日)
- 「春季彼岸会法要」(本堂)午前十一時
- ※同日午後二時より、「永代供養墓苑合同供養祭」を開催します。(荒天時は本堂にて)

編集後記

今年の元旦には能登半島で大きな地震が発生しました。いつ起こるか分からない地震や津波に備える取組「大畑防災学習会」(十一月十七日)、「津波避難訓練」(十一月二十四日)が大安寺を舞台に行われました。来年も引き続き地域一体で防災に取り組んでいきたいと思つています。(副住職)

次号のご案内 令和七年三月中旬に発行予定です。

大安寺 公式ホームページ

スマートフォン・タブレット端末のカメラ機能で読み取ってください。

大安寺 公式 facebook ページ